

潤いのある都市の復活

合流式下水道の改善（合流式下水道における雨天時流出対策を進めます）

汚水と雨水を同じ下水道管に流すものを合流式、別々の下水道管に流すものを分流式といいます。仙台では明治時代から昭和40年代までに整備した市中心部の2,849ヘクタールが合流式です。

合流式では、雨天時にマンホールなどから水が溢れないように下水管のところどころに雨水吐きと呼ばれる放流口（市内76カ所）を設置しており、多量の雨が降ると徐々に雨水吐きから汚水と雨水が一緒になって川や水路に流出する場合があります。市内の悪臭の発生や川の水の汚濁等があり、早急な改善が求められています。

「未処理の汚水は公共用水域に流出させないこと」を目標とし、流出水対策を効率的に推進するため、地域の実状に応じた2段階の改善目標（レベル1、レベル2）を設定し、平成22年度を目途にレベル1の達成に向け施設整備を進めていきます。

関係者 仙台市

- 期待される効果
- レベル1：越流回数や越流水量の多い雨水吐き口40カ所について、ろ過スクリーンを設置することにより、ゴミなどの流出が少なくなり、梅田川、七郷堀等の景観面が改善されます。
 - レベル2：雨水滞水池などの設置により、流出する汚水が減少し、公共用水域への汚濁負荷が分流式下水道並に削減され、水質が改善されます。

実施方法 改善の目標と対策の内容（仙台市下水道基本計画より抜粋）

区 分		改善目標	対策の内容
段階的目標	レベル1	公共用水域にゴミなどを流出させないように雨水吐室を改善する。	● 雨水吐室分水堰へのろ過スクリーンの設置
	レベル2	公共用水域に流出する未処理汚水の量を減らすように改善する。	● 雨水貯留管の設置 ● 分流区域から流入する汚水の系統分離 ● 雨水の貯留、浸透など
将来目標		未処理の汚水は公共用水域に流出しないようにする。	● 分流式下水道化 ● 雨水吐室での処理 ● 貯留管を用いた効率的な処理の実施など

■レベル1での対応事例

ろ過スクリーン

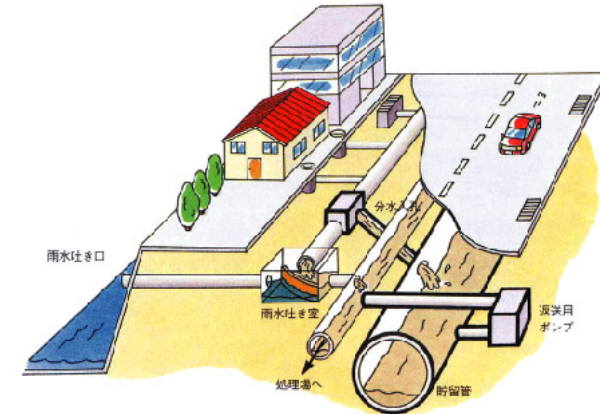
ごみなどが吐き口から雨水幹線へ流出するのを防ぎます。



■レベル2での対応事例

貯留管の建設

降水初期に汚濁物が河川等へ流出しないように管内に貯留し、降水終了後、処理場へ送り処理します。



都市内水路の再編・復活（水辺のある街づくりを進めます）

仙台市東部地区の水田を潤す六・七郷堀は、かんがい期が終わると通水がストップするため、悪臭の発生や景観の悪化に対する改善が望まれています。

六・七郷堀への非かんがい期の試験通水は、平成11年度から実施されていますが、今後も試験通水を行い、水質、景観、水路の管理、市民の堀に対する意識などについて平成15年度まで調査を行いながら、市内の水辺環境の改善を図っていきます。

関係者 市民、土地改良区等関係団体、仙台市、宮城県、東北地方整備局

- 期待される効果
- 六・七郷堀の非かんがい期における水環境が改善されます。
 - 小水路の復活による新しい人と水の関わりが形成されます。

実施方法 ①六・七郷堀への試験通水

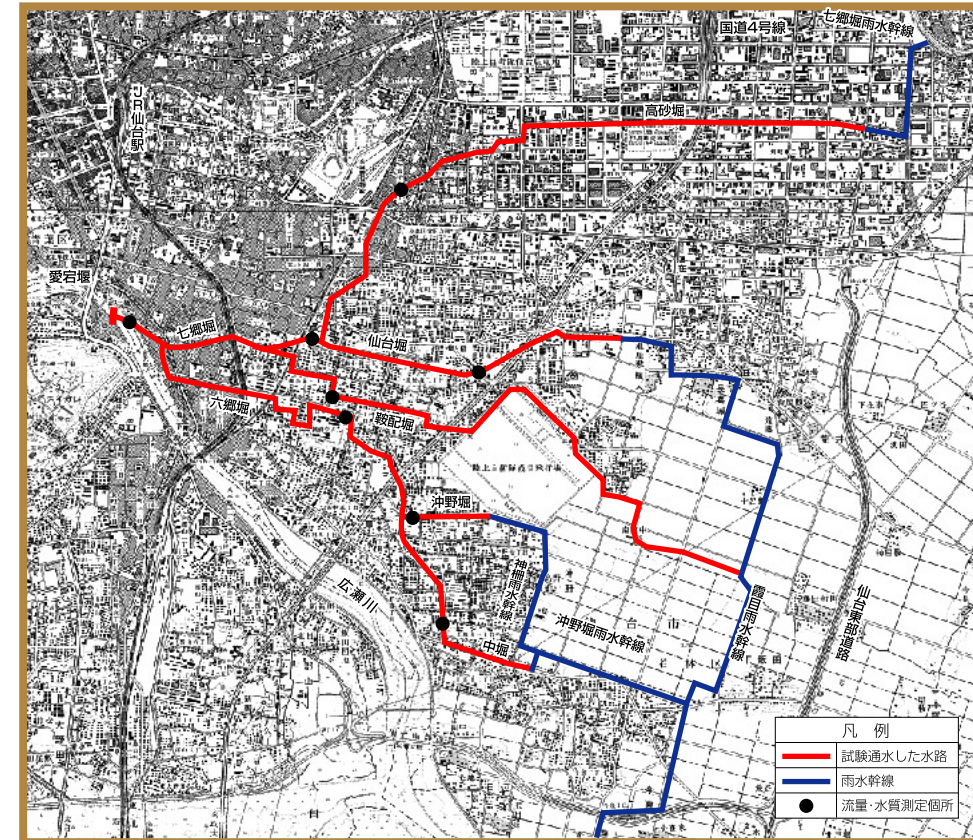
非かんがい期（10月初旬～4月下旬）において、広瀬川の流量に余裕がある場合に、六・七郷堀へ通水を行い、水環境の改善を図ります。

非かんがい期の七郷堀の状況



写真：若林区役所脇（H13.10）

■六・七郷堀試験通水ルート



②これからの取り組み

四ッ谷用水など蓋が被されたかつての水路を水の潤う水路として用水復活を目指すなど、「水辺のある街づくり」について市民と行政が連携し検討していきます。

なお、四ッ谷用水については、平成14年度に関係機関との協議を進めていきます。